

## 令和元年度 西三河地域産業労働会議における主な発言要旨

日時：令和元年 11 月 22 日（金）

午後 2 時から 3 時 45 分まで

場所：愛知県西三河総合庁舎 7 階 701 会議室

### （地域の現状）

- ・輸送用機械製造が盛んな地域であるが、最近は景況があまりよくないと感じている。一旦景気が減速しだすと小規模事業者にとっては経営が非常に厳しくなるような状況である。
- ・人手不足については地域の企業も苦勞をしている。いろいろと取り組んではいるが、なかなか成果としては上がってこない。どうしても大手志向が強いということを感じる部分もある。
- ・中山間地域にあるが、市町村合併前と比べて人口がおよそ 25%減となっている。I ターンの方が結構入ってきており、世帯数があまり変わっていないことが救いである。他の中山間地域も同じような傾向があると思う。人が少なくなることによって厳しい状況が続いている。
- ・製造業が多く立地する地域で人口は年々増加傾向にある。今後は、教育、情報、医療分野等の知識集約的産業の発展も見込めるので、この分野の技術的進展に期待している。

### （中小企業に対する支援）

- ・AI や IoT が進む中、小規模事業者はそれに対応する資金調達にも苦慮しているところが多い。AI や IoT の補助金を創設してもらえればと思っている。
- ・地元の大半は中小企業であって、県の政策的なターゲット層についても中小企業が一丁目一番地になってくると思う。中小企業の人手不足という視点を強く意識していただきたい。
- ・外国人が増え、定住化も進む中、外国人の雇用や労務管理、従業員間の共生に関する企業への支援が重要になるのではないかと。その際、自治体が支援する場合の財源やノウハウへの支援がより必要になってくるのではないかと。
- ・企業の誘致活動をしているがそれが実現できていないのが現状であり、今ある小規模事業者を中心とした企業をどう支援していくかが市の有識者会議でも論点になっている。

### （新規事業・創業等の支援）

- ・目の前の仕事が忙しくてなかなか新規事業や事業承継というところまで考える時間がないという状況がある。こうした現状と、論点に記載されている「あるべき姿」をどうつないでいくかが大きな課題だと思っている。
- ・スタートアップ支援は成功事例ばかりではないため、自治体として覚悟を持って取り組むことが重要である。また、事業内容によっては、県と連携しながら十分な支援メニューや体制を作っていくことがとても重要だと認識している。
- ・中小企業、特に飲食店関係が年々減っていることから、独自に産業活性化補助金を作り、創業者の方等に補助金を支給しているが、創業活性化支援という面では弱いものがある。

### （次世代産業の育成）

- ・車の電動化に伴い将来的な不安を皆さんが持っている。モノづくりの地域だが、次の時代の産業育成をしっかりとやっていかないとだんだんと衰退していってしまう。
- ・競争力の強化、経済の発展には強みを生かすことが一番だと思う。その原動力はモノづくりに関わる技術力であり、技術力を上げる一つはデジタル技術、IT 技術の活用が必要だと思う。

### （地域産業の活性化）

- ・後継者に事業承継するうえで技能、技術を伝えていくことが非常に難しい。まずは石や繊維といった業種をなくさないということもあるが、それらを違った角度から商品につなげていくことで、新たな地場産業になっていくような可能性もあるのではないかと。
- ・自動車産業のCASEのように、単純にものを作って売るという時代から、ものを作ることにプラスアルファしてすべての業界がサービス業になっていくようなイメージが、伝統産業にも必要になってくると思う。

### （人材不足対策）

- ・地元では建設業者も少なくなりつつある。加えて、人材不足のためにオペレーター等をなかなか採用できない状況もあり、いざ災害が起きた場合には、その復旧にかなり困ることになる。人材や技術等の支援ができれば災害にも何とか対応できるのではないかと考えている。
- ・産業を振興し、県外から働き手を募っていくことは、県外の方から見た愛知県のイメージ、愛知県の観光戦略そのものと非常に関係が深いと考えている。
- ・現在、中学生向けに工業について紹介する動画を作成している。将来、子供たちが進路を考えるにあたり、工場で働くと格好いいなと思ってもらえるようなものを作ろうとしている。人材不足に対する特效薬がない中でも少しでもその解決になるような取組をお願いする。

### （生産性の向上）

- ・人手不足対策として生産性向上の取組への支援に力を入れている。この地域は産業集積度が高いが、その技術力や研究開発力の強化を後押しするためにも、公設試験研究機関や大学などとの共同研究等への支援、助成の拡充をお願いしたい。
- ・2020年4月から中小企業も働き方改革をしていかざるを得なくなってくる。中小企業にとってどのような方向性で生産性を上げていくのかが大きな課題になっている。

### （人材の育成）

- ・IoT、AIは設備を導入すればいいというものではない。自らの業種や業態にあった使い方を考える人がなかなかいない。産業人材の育成が難しい現状があると思う。
- ・生産性を上げようにも、その担い手であるIT人材が労働マーケットに絶対的に足りていないのではないかと。人材をどうやって育てるのか、育てる体制を考える人をどうやって連れてくるのかを検討いただけるとありがたい。
- ・人材は世の中が育てていかなければいけない。モチベーションを高く持ちつつ健康な状態で働き続けることによって、また新しいものが生み出されていく。このいい流れを切らないようにしていくことが我々の役割でもある。

### （多様な人材の活躍）

- ・現状をみると文化の違いにまだうまく順応できていない外国人が多い。人手としては来るが人材とまではなっておらず、教育機関が不足しているのが現状ではないかと。
- ・小規模事業者の支援のために、監理団体の設立や外国人の在留資格に商工会が柔軟に対応できるように支援をいただきたい。
- ・今後外国人が増える中で、あるいは景気後退によって職を失うといった際に市町村での住民サービス

だけでは対応しきれない部分も出てくる。西三河地域や県、国といった単位での対応も検討していく必要がある。

- ・働く気がない人を雇用につなげるには相当な苦勞がある。働いていない女性や引きこもりの若年者、高齢者など、これからはそういう人たちをいかにその気にさせ、その人たちが好きな場所や時間帯で働けるように、企業側の意識改革やニーズの掘り起こしがとても重要になると思っている。
- ・企業を中心に外国人が増えている中、地域の住民からは生活面で不安に思っている様々な意見があった。外国人に対する生活環境の整備やインフラ整備を進めてほしい。
- ・中小企業が人を採用しようとしても大企業の採用力にはかなわないという声が多くある。多様な人材が働きやすい環境を作ることができれば、それが宣伝となってまた雇用につながることになる。そうした環境づくりの支援をお願いしたい。
- ・女性の活躍を推進している企業を認定する制度を設けた。今後も女性の方に活躍していただければと思っている。
- ・女性の活躍については、企業の方、特に人事の方に環境を整えていただくことも大事だが、男性の意識改革や、家族が協力できるような対策が何かできないかと思っている。

#### (観光の振興)

- ・歴史と文化をPRしていろいろな方を招くことに力を入れている。歴史的価値の高い施設の保護・整備に対する支援についても盛り込んでいただきたい。
- ・海岸部は観光資源が豊富で、地元には3つのブランドの特産品もあるため、観光にも力を入れている。観光施設費等に対する県の補助金の拡充をお願いできればと思っている。
- ・昔の東海道の宿場町として歴史文化が栄えていたということもあり、それを生かしたまちづくりができるように今後検討を重ねていきたいと思う。

#### (次期計画への期待)

- ・次期計画については見直し等をしていきながら、中長期ビジョンのなかでも直近の部分で、できるだけ現場に立脚したタイムリーな施策を柔軟に対応していただくことを希望したい。
- ・様々な施策において5年や10年といった様々なスパンがあるが、スピード感をもって取り組んでいただきたい。